

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品：HKP-302MDR
会社名：株式会社エッチ・ケイ・プランニング
住所：福岡県春日市春日公園7-47
電話：092-588-0303
FAX：092-588-0304

推奨用途：業務用洗浄剤
使用上の制限：推奨用途に限定する。

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 3

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分 2B

生殖毒性：区分 1A

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（気道刺激性）

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 3（麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1

注意喚起語：危険

危険有害性情報

H226 引火性液体及び蒸気

H320 眼刺激

H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

H335 呼吸器への刺激のおそれ

H336 眠気又はめまいのおそれ

H372 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害



注意書き

安全対策

P201 使用前に取扱い説明書を入手すること。

P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

P210 熱/火花/裸火/高温などの着火源から遠ざけること。一禁煙。

P233 容器を密閉しておくこと。

P240 容器を接地しアースをとること。

P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

P242 火花を発生させない工具を使用すること。

P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。

P260 煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

P264 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

P280 保護手袋及び保護眼鏡/保護面を着用すること。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

P370 + P378 火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

P314 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

P304 + P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

貯蔵

P403 換気の良い場所で保管すること。P233 容器を密閉しておくこと。P235 涼しいところに置くこと。

廃棄

P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物質

一般名：脂肪酸エステル、アルコール、有機酸塩、水

成分名	濃度 (wt%)	安衛法 (表示・通知物質)	化管法	毒劇法
エタノール	30～40	該当	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の場所に移し、うがいをし、安静・保温に努める。異常を感じるならば医師の処置を受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに多量の水で洗い流す。異常を感じるならば医師の処置を受ける。

眼に入った場合

こすらずに直ちに流水で15分間以上洗眼(眼球とまぶたの隅々までよく洗う)し、医師の処置を受ける。

コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し、洗浄を続ける。

飲み込んだ場合

口の中を水で洗い、水又は牛乳を飲む。直ちに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂など消火剤を使用する。

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。危険でなければ火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護

消火作業従事者は適切な保護具を着用し、煙等を吸い込まないように、風上から作業する。

6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

適切な保護具を着用する。関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する予防措置

漏出された製品が河川等に排出され、環境に影響を及ぼさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した液は出来るだけ回収し、残りはウエス、ぼろ布等に吸収させて焼却する。回収できない液は、多量の水で十分に希釈して洗い流す。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策（取扱者の暴露防止）

適切な保護具を着用する。

注意事項

皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。

煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

転倒させ、落下させ、衝撃を加え又は引きずる等の乱暴な取り扱いをしない。

適切な保管条件

高温・直射日光を避けた涼しい所に密栓して保管する。子供の手の届かない場所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理指標

許容濃度（エタノール）：ACGIH(2008) STEL：1000ppm（上気道刺激）

ばく露防止

設備対策

室内で取扱う場合、適切な排気装置を設け、管理濃度以下に保つ。

取扱い場所の近くに、手洗・洗眼・身体洗浄のための設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具

保護マスク

手の保護具

ゴム手袋等の適切な手袋を着用する。

目の保護具

保護眼鏡を使用する。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて、保護長靴、保護服、ゴム前掛

9. 物理的及び化学的性質

外観	： 無色透明液体
臭い	： アルコール臭
pH	： 7.4（代表値）
比重	： 0.94（代表値）
粘度	： 1.8 mPa・s（25℃）（代表値）
沸点、初留点及び沸点範囲	： 初留点＞35℃
引火点	： >23℃
燃焼又は爆発範囲の上限、下限	： データなし
蒸気圧	： データなし
自然発火温度	： データなし
動粘性率	： データなし
粒子特性	： データなし
その他	： データなし

物理的及び化学的性質に関するその他の情報についてのデータはありません。

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 通常の保管条件／取扱い条件では安定である。

危険有害反応の可能性 特になし

避けるべき条件 日光、熱

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性 LD₅₀ 2000 mg/kg以上（マウス-経口）

急性全身毒性試験 急性毒性はない（マウス-静脈内）（マウス-腹腔内）（0.5%溶液）。

眼刺激性試験

無刺激（ウサギ）（0.5%溶液）

皮膚腐食性・刺激性

皮膚一次刺激性試験 無刺激物（ウサギ）（0.5%溶液）

皮内反応試験 陰性（ウサギ）（0.5%溶液）

皮膚感作性

皮膚感作性試験（モルモット）

最低感作誘発濃度は25%であり、実使用濃度からする感作性のリスクは低い。

変異原性

コロニー形成阻害試験（V-79培養細胞）IC₅₀ 1.5-2.0mg/ml（ZDBC 陽性標準物質IC₅₀ 1.3 μg/ml）

復帰突然変異試験（エース試験）（Escherichia coli. 及びSalmonella typhimurium）陰性（0.5%溶液）

発熱性物質試験 陰性（ウサギ）（0.02%溶液）

溶血性試験 溶血性を示さない。（ウサギ血液）（0.2%溶液）

発がん性

（エタノール）ACGIH-A3(2008)：確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

生殖毒性

（エタノール）cat.1A；human：PATTY 6th, 2012

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

〔区分3〕（エタノール）気道刺激性（PATTY 6th, 2012）

〔区分3〕（エタノール）麻酔作用（PATTY 6th, 2012；SIDS, 2005）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

〔区分1〕（エタノール）肝臓（DFGOT vol.12, 1999）

誤えん有害性 有用な情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

短期（急性）（エタノール）藻類（クロレラ）EC₅₀=1000 mg/L/96hr（SIDS, 2005）

長期（慢性）（エタノール）甲殻類（ニセネコゼミジンコ属）NOEC=9.6 mg/L/10 days（SIDS, 2005）

残留性と分解性（エタノール）急速分解性があり（BODによる分解度：89%（既存点検, 1993））

生体蓄積性（エタノール）log Pow=-0.32（ICSC, 2000）

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

使用液（希釈液等）の排出の際は大量の水と共に廃棄する。大量の場合は廃棄物処理業者に廃棄依頼する。

14. 輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件

輸送に関しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止 海洋汚染物質：非該当

MARPOL条約附属書V - 廃物排出による汚染防止 エタノール

国際規制

国連番号／国連分類：UN1993／クラス3（その他の引火性液体） 容器等級Ⅲ

15. 適用法令

労働安全衛生法：名称表示危険/有害物 エタノール
名称通知危険/有害物 エタノール

毒物及び劇物取締法 : 該当せず
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) : 該当せず
消防法 : 該当せず
船舶安全法 : 危規則 第3条 危険物告示別表第5 引火性液体類
航空法 : 施行規則第194条 危険物告示別表第3 引火性液体類

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2020 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7253 : 2019
JIS Z 7252 : 2019
Supplier's data/information

責任の限定について

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データなどに基づいて作成しておりますが、新しい知見によって改訂される事があります。また、情報の正確さ、完全性、製品の性能について何ら保証するものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものですが、特別な取扱いをする場合には新たな用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意してください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE令和元年度 (2019)) です。但し、当社の判断に基づいて、データを一部変更しております。